

事業所名	放課後等デイサービスのびのびりいふ もも	支援プログラム	作成日	2026 年 2 月 1 日
法人（事業所）理念	・少人数集団での活動の中で『遊び』を通して身辺自立や人と関わっていく力を養い、生きる力を育てる。(SST) ・家族のより良い関係づくりのサポートを行う。(家族支援)			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人ひとりの発達段階や発達課題を正しく理解し、方向性を見極めていく。</li> <li>子ども、スタッフ、保護者、地域社会とのふれあいやつながりの中で、子どもと保護者が生きていくことの喜びを見つけ、学び育つ事の意欲と生きがいを育むことを目的とし、以下の支援を行う。</li> </ul> <p>①基本的生活習慣(食事・排泄・着脱など生活動作)の確立      ②健康な身体づくり      ③意欲や遊ぶ力の育成      ④保護者との協力・連携      ⑤地域・関係機関との交流や連携</p>			
営業時間	9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
	支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活動作及び手段的日常生活動作（掃除、買い物、交通機関の利用など）の獲得</li> <li>生活リズムを整え、健康な体作りを行う。（食事、睡眠、手洗いなど衛生面）</li> <li>身だしなみを整える。</li> <li>園芸・食育で季節や植物、食べ物に興味を持つ。（季節の野菜や植物を育てる。クッキング等）</li> </ul>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>協調運動能力、コミュニケーション能力を高める。（サークル運動、リズム遊び、キャッチボール、バッティング、ダンス）</li> <li>戸外遊びで体を使って遊んだり、季節を感じたりする。また、色々な素材を使った創作活動、音楽活動、園芸を通して様々な感覚刺激を取り入れる。</li> <li>ハサミ、箸、鉛筆など創作活動や個別療育に取り入れ、手先の操作性や力の調節へとつなげていく。</li> </ul>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付、時間、数の概念など認知発達を促す環境をつくる。</li> <li>スケジュールに沿った活動とその中で自分で選んだり、決めたりする経験を通して、様々な生活の場での見通し、選択をする力へとつなげる。</li> <li>集団の中で、適切な行動を習得する。</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや要求を周りの人に伝えるための表現方法を身につけ、人と伝え合う必要性を知り、人と関わり合って生きていく力をつける。</li> <li>あらゆる活動の中で適切な距離感、挨拶や場面に合った言葉使いを知り、人との相互作用によるコミュニケーション能力を獲得する。</li> <li>読み書きに対する学習支援。</li> <li>自分の感情や思いを言葉で表現する力をつける。</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>人と向き合う力、感動の共有、応答関係を深める中で対人関係の育ちへとつなげる。</li> <li>自分と友達の思いの共感や違いからの葛藤などを通して、協力する力や思いやりの気持ちを育み、周囲の人と関わる力につける。</li> <li>買い物や交通機関を使う事で社会の中にあるルールを知り、守りながら生活する力につける。</li> <li>順番やルールを守りながら遊びやスポーツなどを楽しむ。また、適切な態度や言葉を使い、集団の中でも楽しいと思える力へとつなげていく。</li> </ul>		
家族支援	・保護者が子どもの発達について正しく認識し、子育ての喜びを感じながら根気強く育てていけるように定期的な面談を実施する。 ・保護者の育児負担を軽減できるよう必要な助言や社会資源の情報提供を行う。	移行支援	・新しい場所へ子どもや保護者が安心して移行し、新しい生活をスタートできるよう、西部療育センター、こども家庭センター等、また進路先の地域小中学校、特別支援学校との電話、訪問、文書での連携を行う。	
地域支援・地域連携	・それぞれの場所で子どもや保護者が安心して過ごせるよう、西部療育センターやこども家庭センター等、地域の医療機関、地域の小中学校、特別支援学校、併用利用の他事業所との電話、訪問、文書での連携を行う。	職員の質の向上	・毎月、職員全員参加の職員会議、職員研修の実施。 ・感染症対策委員会、虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を設立し、委員会活動を行う。(安全計画、業務継続計画の検討、見直し/各研修、訓練の計画と実施など) ・子どもの発達の知識や支援技術の向上、キャリアアップのための外部研修の随時受講	
主な行事等	4月：お花見遠足 5月：児童発達支援事業所のびのびりいふ親子遠足参加 7月：七夕まつり 8月：夏まつり 10月：ハロウィンパーティ 12月：児童発達支援事業所のびのびりいふ親子クリスマス交流会参加、ももクリスマス会 1月：書初め・初詣 2月：バレンタインクッキング ※避難訓練：曜日替わりで毎月実施 ※気候に合わせて子どもだけでおでかけ垂水健康公園・あじさい公園など)、買い物体験、図書館利用、公共交通機関利用など			